

臨時会
2月2日

第27回臨時会は指定管理者の指定など4議案について審議を行いました。

その結果、22年度一般会計補正予算は反対1、賛成8で、22年度病院事業会計補正予算などの3議案は全会一致で議決しました。

くずまき斎苑の指定管理者に引き続き新岩手農業協同組合を指定することを議決しました。指定期間は、23年4月1日から28年3月31日までです。

定例会

3月18日の最終本会議で23年度当初予算のほか、22年度一般会計補正予算と特別会計補正予算、条例改正、請負契約の締結など、19議案を全会一致で議決しました。

条例・規約改正

4月1日から、それぞれ施行



やまぎし み 山岸はる美 議員

議員 年末年始の大雪による倒木の影響で道路、電気、電話が不通になりました。雪の重みで畜舎の倒壊や停電のため搾乳ができなかったり、悪路で集乳ができないため牛乳の廃棄を余儀



倒木で道路や通信網が不通となった安孫地区

されます。

◆国民健康保険条例の改正
国民健康保険の加入者が、出産した場合の出産育児一時金を39万円に引き上げます。

◆町立保育所条例の改正
五日市・小屋瀬・江刈の各保育園を葛巻保育園の分園とします。

◆職員の育児休業等に関する条例の改正
育児休業を取得できる対象に、在職1年以上の非常勤職員を加えます。

◆県市町村総合事務組合規約の変更
盛岡地区広域行政事務組合が「盛岡地区広域消防組合」に名称変更することに伴い、規約を変更するものです。

人事案件

◆人権擁護委員の候補者の推薦
下屋敷利美さん（浦子内）を候補者として推薦することに同意しました。

請負契約

◆22年51号河川災害復旧工事
・工事場所 戸草沢地内

・契約金額 5933万円

・工事期限 11月23日

・契約相手 (株)阿部土建
エンタープライズ

町辺地総合整備計画

道路や飲料水供給施設、電気通信施設など公共的な施設を整備するために必要な計画です。

計画期間は、23年度から27年度までの5年間です。

臨時会

3月30日

第29回臨時会は、22年度一般会計補正予算など2議案について審議を行い、全会一致で議決しました。

22年度補正予算

一般会計と特別会計の22年度補正予算については、2月2日と3月30日の臨時会、3月定例会で議決された総額を下表にまとめて掲載しています。

22年度一般会計と特別会計の補正内容

会計名	補正前の予算額	今回の補正額	補正後の予算額	主な内容	
一般会計	57億9,720万円	5億1,729万円	63億1,449万円	公共施設等整備基金積立金ほか	
国民健康保険事業	11億5,566万円	▲748万円	11億4,818万円	共同事業拠出金などを減額	
簡易水道事業	1億8,911万円	▲629万円	1億8,282万円	配水管移設工事費などを減額	
農業集落排水事業	2億3,818万円	▲2,418万円	2億1,400万円	浄化槽整備工事費などを減額	
病院事業	事業収益	9億260万円	300万円	9億560万円	医師当直室の改修 自動血球計数測定装置の整備
	事業費用	8億2,206万円	300万円	8億2,506万円	
	資本的収入	4,073万円	500万円	4,573万円	
	資本的支出	5,157万円	500万円	5,657万円	

1万円未満は四捨五入しています

問 冬期間の生活道、電気、通信網の確保は
答 各事業者との連携を密に安全確保に努める

なくされた酪農家もあります。このような大雪災害を想定した場合、通常の除雪対応で生活道の確保はできるか。

また、住民生活に欠かすことのできない電気、通信網の安定供給に向け、事業者に対して働きかけを行う考えは。

町長 この記録的な大雪は想定外のもので、倒木により倒れた電柱や電線が、除雪作業の妨げとなりました。

今後このような状況を想定し、除雪機械の充実と自治会や消防団等との連携を図るとともに、「町地域防災計画」に定める重要幹線町道、定期バスや通院バス、給食車などの運行路線を優先して除雪を行います。

また、今回の2度にわたる大規模な停電という事態に、県知事や東北電力盛岡支店長に対し、停電時の対応等について協議す

る場の設置を要望しており、電力の安定供給の確保に向けて積極的に関わっていきます。

問 若者の定住へ向け住宅と就労の場を

町の活性化には、U・Iターンで定住される方々の呼び込みや、本町に生まれ育った若者たちが町内で就労できる体制づくりが必要と思うが、住宅と就労の場の提供に対する取り組みは。また、空き店舗の活用で賑わいを創出するための施策は。

答 新規事業等導入で就労・住環境確保

町では「過疎対策」イコール「人口減少対策」と位置づけ、この数年間の具体的な対策の結果、20年以降は19世帯43人の方が移住あるいは定住されており、取り組みの効果が表れてきてい

ると感じています。

雇用機会の確保は、基幹産業の農林畜産業に対する足腰の強化と担い手、後継者の育成に支援しているほか、第三セクター3社では100人を超える雇用に継続し、(株)くずまき工房の企業立地により5人の新たな雇用や、既存の企業からも大きく貢献いただいています。

次に住宅に関する施策は、町営住宅に加え、教員住宅等の貸し出しも行っているほか、新婚夫婦に対する新婚生活支援金の交付や新婚ライフサポート事業を今定例会に提案しており、就労環境と住環境の確保に積極的に取り組んでいきます。

空き店舗の活用については、『くずまき「まち・みち」会議』を設置して、意見を十分に集約し、中心市街地の整備構想をまとめていく考えです。